

# 東日本 大震災

## 被災者への 市の対応と 市民の皆さんのご厚意

派遣。

### ▽医療救護班

3月25日(金)から4月3日(日)まで、宮城県気仙沼市へ、市立総合病院の医師2人、看護師2人、薬剤師1人、事務員1人、計6人を派遣。

### ▽応急復旧隊(水道)

4月1日(金)から10日(日)まで、宮城県石巻市へ、市職員3人と民間業者3人、計6人を派遣。

### ▽避難所の管理や支援物資の配送業務等を支援する行政職員

市職員24人を派遣予定。(期日と派遣先は未定)

### ▽避難所で健康相談業務を支援する保健師

5月6日(金)から10日(火)まで、岩手県盛岡市へ、保健師2人の派遣を予定。

### 【物資の提供】

#### ▽災害用備蓄品

3月24日(木)に、アルファ米2千食、毛布1千枚、簡易トイレ便座20台、簡易トイレ袋500枚を発送。

#### ▽精米

3月29日(火)に、岩見沢産ななつばし5トンを発送。

### 【義援金の募集】

#### ▽市 1千万円

#### ▽市職員による街頭義援金活動

3月23日(水)から31日(木)の朝と夕方

に、岩見沢駅前で実施し、高校生などたくさんの方から、およそ38万円が集まりました。

### ▽日本赤十字社岩見沢市区による義援金の受け付け

4月20日(水)現在、393の団体と個人から、およそ1千600万円の温かい義援金が集まりました。

なお、日本赤十字社岩見沢市区(市役所本庁)と北村・栗沢支所の市民課の窓口で、9月30日(金)まで、引き続き受け付けていますので、温かい支援をお願いします。

### ▽個人支援物資の受け入れ

4月5日(火)から17日(日)まで、123の団体と個人から、たくさんの食料品や生活用品、学用品を預かりました。

## 被災者への支援

### 【主な支援制度】

税金や各種保険料、生活資金の貸付など(6・7ページの表参照)

### 【住宅の提供】

#### ▽市営住宅(6・7ページの表参照)

●志文団地 3戸

●弥生ヶ丘団地 2戸(2戸入居済)

#### ▽雇用促進住宅

●新東町団地 78戸

福島県から避難してきた方を激励する市長

## 被災地への支援

市は、3月11日(金)、東北地方で発生した地震、津波などの災害で甚大な被害を受けた地域に対する支援を行うため、3月16日(水)に東北地方太平洋沖地震被災地支援対策会議を設置し、被災者にできる限りの様々な支援を行っています。

### 【職員の派遣】

#### ▽緊急消防援助隊

3月16日(水)から21日(月)までと、4月1日(金)から7日(木)まで、宮城県石巻市へ、それぞれ消防士5人を

## 避難している方へお願い

被災した県や市町村では、被災者の避難先を把握できないため、各種通知や情報の提供ができなくなっています。

そこで、全国の各市町村が、被災した県や市町村に代わって避難者の情報を収集することとなりましたので、市内に避難している方は、是非お知らせください。

連絡先 市住民自治・安全安心推進室

0120 0120 113 926

(札幌市中央区北3西6)

被災県緊急支援対策本部

北海道の総合相談窓口

☎23局4111

住民自治・安全安心推進室

岩見沢市の総合相談窓口

- 栗沢団地 74戸(16戸入居済)
- ▽ その他施設
- 教職員住宅 1戸
- 北村自然体験学習館 12人
- リサイクルセンターで保管しているタンスや机、テーブル、イス、ベッド等の家具を提供できますので、詳しくはお問い合わせください。

## 被災地で支援活動を行って

### 緊急消防援助隊 岩見沢消防署 消防司令 沼田幸弘

3月17日の夕方に石巻市のベースキャンプ地である石巻市総合運動公園に到着、テント設営を行い野営しましたが、夜は非常に寒く北海道から行った我々でも身にこたえました。

翌日より捜索活動を開始しましたが、現地の状況は、リアス式海岸特有の入り江に集落が点在しており、峠を下り視界が開けると景観は一変し、町全部が壊滅状態で建物の3階部分まで津波のあとがあり、木造建物は跡形もなく、新聞、テレビ等で見る映像より実際この目で見た衝撃は計り知れないものがあり、津波の破壊力の強さをあらためて感じました。捜索活動は困難を極めました。現地の人々は、この状況を受け入れているようで、我々に頭を下げて感謝の気持を表していました。

今回の捜査活動では隊員に事故もなく、ライフラインの途絶により衛生面での体調管理等に心配りが必要でした。

最後にこの地震、津波で多くの方が犠牲になられ尊い命を亡くされた方々のご冥福を祈るとともに、被災された方々の1日も早い復興を願うものであります。

### 応急復旧隊 水道部 水道課長 八重樫知宏

現状は報道以上に悲惨であり、牛の死骸にカラスが群がる姿は、地獄絵図でありました。私たちは、避難所や仮設住宅建設地の給水管の修繕を最優先に復旧作業を行って来ましたが、復興に向けた作業の大きな障壁となっているのが「がれきの山」です。これを取り除かないことには、前には進めないと思いました。復旧活動7日目には、震度6強の地震に就寝中の寝込みを襲われ、立ち上がることができず、宿舍が崩壊する恐怖に襲われ、全員なりふりかまわず宿舍を飛び出し一目散に逃げました。翌日、地元の婦人から「怖かったですよ！」と笑みを浮かべて聞かれた時には、地震に慣れてしまっているんだなと、私たちとの感覚の違いを痛感しました。

今は、全員けがも無く、無事帰還できたことが、何よりと思っています。しかし、我々には帰る所がありますが被災者にはありません。今後も被災地が早く復旧できるように支援の輪が途切れないことを願っております。

## ▶ 東日本大震災の被災・避難者に対する主な支援内容 ◀

区分	対象	内容	問合せ先
市税・使用料・手数料など	個人市・道民税	被災状況により、申告等の期限の延長、納税の猶予、税額の減免	市税務課
	法人市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税	被災状況により、申告等の期限の延長、納税の猶予	
	国民健康保険料	被災状況により、料金の減免、納付の猶予	市健康推進課

市税・使用料・手数料など	後期高齢者医療保険料			
	介護保険料	岩見沢市に納付義務がある被災・避難者	被災状況により、料金の減免、納付の猶予	市高齢・介護室
	介護サービス利用料			
	認可保育所の保育料	被災・避難者	被災状況により、減免	市教委子ども課
	国民年金保険料	住宅、家財、その他の財産が概ね2分の1以上の損害を受けた方	免除	岩見沢年金事務所 ☎ 22 局 5804
	戸籍や住民票、印鑑証明書、納税証明書など各種証明書の発行手数料	被災・避難者	免除	市民サービス課
	市営住宅の使用料・敷金	被災・避難者 (自主避難者は除く)	免除 光熱水費、共益費、自治会費などの実費は個人負担。	市建築課
受けられるサービス	妊婦健診、乳幼児健康診査、予防接種等の受診	被災・避難者	詳しくは、お問い合わせください	岩見沢保健センター ☎ 25 局 5540
	市営住宅への入居	被災・避難者 (自主避難者は除く)	入居可能	市建築課
	医療機関への受診	被災・避難者で被保険者証等をお持ちでない方	氏名、生年月日、住所等の申し立てで受診可能	各医療機関
	医療費の一部負担金	被災・避難者	被災状況により、支払の猶予、負担金の減免	加入している健康保険
	介護サービスの利用	被災・避難者	詳しくは、お問い合わせください	市高齢・介護室
	小・中学校への転校	被災・避難者	転校可能 学用品費や修学旅行費等の就学援助はお問い合わせください。	市教委学校教育課
	認可保育所への入所		詳しくは、お問い合わせください	市教委子ども課
その他	生活福祉資金の貸付	被災地域内に住所を有する世帯	10万円以内(死亡者がいる世帯は20万円以内)	社会福祉協議会 ☎ 22 局 2960
	助け合い北海道からの情報提供	被災・避難者	道民が無償で提供できる物品の情報。被災・避難者が必要としている物品の情報 被災・避難者のみ電話受付。	北海道道外被災県緊急支援対策本部 ☎ 0120 - 113 - 926
	公営住宅入居つなぎ宿泊	被災・避難者で市内の市営住宅や雇用促進住宅に入居される方	入居までの間、指定宿泊施設に3日間を限度に宿泊できます(5,000円まで助成)	市住民自治・安全安心推進室
	雇用保険の失業給付	災害で休業や一時的な離職を余儀なくされた方	失業手当を受給できる特例措置があります	ハローワーク岩見沢 ☎ 22 局 3450
	こころのケアホットライン	被災・避難者	電話等でこころの健康相談	北海道立精神保健福祉センター ☎ 0120 - 221 - 740

転入届をしなくても、サービス等を受けられる場合があります。詳しくは、お問い合わせください。